

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス コンパス金
沢文庫教室

対象人数(保護者)30人 回答者数 11人 回収 36.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9			2
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			1
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2		1
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	2		1
適切な支 援の提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2		
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			
	⑦ こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11			
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	2		
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1		
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2	1	
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	3	1
保護者 への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11			
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11			
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	2	
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	1		
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2		
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	2		
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	4	1
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2		1
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1		1
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	2
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1		1
非常時 等の対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9		1	1
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		
	㉖ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		1
満足 度	㉗ こどもは安心感をもって通所していますか。	11			
	㉘ こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1		
	㉙ 事業所の支援に満足していますか。	10	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス コンパス金沢文庫教室		2025年 10月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	88%	13%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・何かあれば都度相談し、配置等変更し、日々改善をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	88%	13%		・事務スペースとの仕切り板が欲しい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・主にKPTを使用している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・毎朝の朝礼と振り返りでやっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		・実施していないという認識。 ・よくわかりません。 ・本部で行っているのか不明 ・評価結果の話し合いをするべき。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	88%	13%		・よくわかりません。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・振り返り（朝の会議）で話し合いを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%		・よくわかりません。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88%	13%	・月1でみんなから意見を集めて計画している。	・よくわかりません。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・朝礼と振り返りでやっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%		・必ずではない。次の日の朝に振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	88%	13%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	88%	13%		・よくわかりません。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・工作では、決まった材料で自由に工作するというプログラムがある。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	63%	38%		・よくわかりません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・おむかえの際、共有し合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	25%	75%		・就学時に利用を開始する児童が少なく機会が乏しい。 ・よくわかりません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	63%	38%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	38%	63%		・よくわかりません。 ・社会福祉協議会には参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%		・よくわかりません。 ・公園やログハウスでは遊ぶことがある。 ・公園での関わりがあるが、活動としては行っていないため、関わって活動できる機会があればよい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	88%	13%		・教室の職員でローテーションで参加している。 ・よくわかりません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・HUGや送迎で話すように	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	38%	63%		・よくわかりません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	13%		・よくわかりません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		・よくわかりません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・HUGやインスタで共有している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	13%		・家族等には周知していない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・発作がおきた時のマニュアルも作成している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	・個人別におやつ袋が用意されている	・おやつ提供時には注意しているが、医師の指示書は確認したことがない。 ・アレルギーの子に対しておやつや食事で工夫はしているが医師の指示書にも基づいてはいない。（指示書がない）
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	88%	13%		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス コンパス金沢文庫教室		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 16日 ～ 2025年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 9月 16日 ～ 2025年 9月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様で固定化されず、支援計画に基づいた活動プログラム。	・全員の個別支援計画における目標から活動のねらいを定め、それをもとにプログラム案を出している。 ・最終的に指導員と児発管で話し合いを行い、月毎のプログラムを決定している。	・「外出活動の時間が短い。頻度が下がった」とのご意見を頂戴し、外出活動へのニーズが高いことがわかった。頻度としては前年とほぼ同じ回数になるよう組んでいるが、職員の休憩時間確保の観点から外出時の出発時間は以前より遅くなっていることもある。休憩時間確保と外出機会の充実の両立を目指し、活動実施方法を検討する。
2	安全・安心して利用できる環境整備。	・教室内に事故に繋がるリスクのある個所がないかの見直し、児童制作物の掲示や、気持ちに寄り添った対応等、心理的にも身体的にも児童が安全に通所できる雰囲気づくりを心掛けている。 ・安全配慮のため、危険物管理等もしている職員スペース内へは自由に入出入りできるようにはしていないが、静養室の使用方を明確に掲示し、児童の様子に応じて個室利用を積極的に認めている。	・児童人数に応じて職員の出勤日を調整し、可能な限りサービス提供の質の維持・向上を目指す。 ・事故、怪我等のアクシデントを0にするため、ヒヤリハットの共有を徹底し、職員ひとりひとりの意識向上に繋げる。
3	児童が楽しく通所できる環境。	・児童のニーズややりたいことを聞き取り、可能な限り児童本人の意思決定を尊重した対応を心がけている。 ・児童同士の関わりの機会を積極的に設け、コミュニケーションを活発化させるような支援を意識している。	・活動の幅や選択肢をより広く持てるよう、地域や関係機関との連携を検討する。 ・事業所内では安心して通所できる環境を維持しながら、事業所外で新しいことに挑戦できるような環境を設けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関や地域との連携。	・保護者さまやご本人さまの困り感に応じて、必要があれば適宜行う方針であることから、全体的に連携を行う頻度としては低くなっている。 ・セルフプランで利用されている方も多く、事業所が介入し事態を混乱させることを避けるため、保護者さまの希望がある場合にのみ連携を行っている現状がある。	・セルフプランの方については保護者さま中心に連携を取ることは変えず、学校での様子等でお変わりが見られる時には積極的に聞き取りを行い、関係機関との連携が可能である旨をお伝えしていく。
2	緊急時対応や安全確保に関するご家族さま等への周知。	・ペーパーレスのため紙媒体での発信を控えているため、ご家族さま毎にご覧になれる情報媒体が異なり、皆さまに同様の情報を提供することが困難な面がある。 ・事業所内で緊急時対応についての研修を実施・共有しているが、それを発信する時期や方法などシステム化が不十分であった。	・HUG（サービス提供記録、出欠席等を保護者さまが携帯やPC等のデバイスで見ることが出来るツール）やInstagram等のツールを使用し、緊急時の対応・フローの公表を検討する。
3	事業所内の取り組みについて全職員への周知。	・非常勤で運転業務のみに従事する方など、部分的に関わる職員の場合、事業所の取り組みに関して知ることのできる時間や手立てが限られている。 ・普段行っている支援や取り組みと自己評価の項目の記載との一致ができていない。	・職員連絡ノートの継続と、別途時間の短い方向けには個別のお知らせを渡したり、直接お伝えしたり等の個別対応を行い、全員へ情報が周知されるよう配慮を行う。 ・支援や取り組みについて、ガイドラインや自己評価項目等のどこに該当するものなのかを、今一度よく周知徹底する。